

11 月 20 日：VN 指数はついに反発 (VN-Index +0.95%)

- 4 日連続で下落を記録していた VN 指数は本日、底値での押し目買いと思われる動きが優勢となり、反発して寄り付いた。取引は活性化し、前場だけで売買代金は 9.1 兆ドンに達した。
- 買い方は主要セクターである不動産、金融、銀行、素材セクターに向かった。
- 後場では上昇幅を拡大させる動きも見られたが、引けにかけて売り方も徐々に強まったため、少し落ち着きを見せたところで本日の取引を終えた。
- 取引終了間際に銀行セクターの上昇がさらに加速したほか、前場では下落していた情報技術セクターが一転して堅調な動きとなった。
- 250 銘柄が上昇、148 銘柄が下落、57 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は前日比+34.8%と大幅に上昇し、17.8 兆ドンとなった。

VN30 指数はさらに大きな上昇 (VN-30 +1.00%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、24 銘柄が上昇し、2 銘柄が下落。4 銘柄が変わらずとなった。
- BCM (+2.66%)、VHM (+2.61%)、TCB (+2.01%)がけん引した。
- 一方で下落したのは MWG (-1.22%)、GAS (-0.44%)の 2 銘柄のみだった。

セクター・個別株の動き

- FPT (+1.85%)は 2024 年 10 月の業績を明らかにした。同社の売上は 50.8 兆ドン（前年同月比+19.6%）、税引き前利益は 9.2 兆ドン（同+21.4%）であった。これにより同社の年間目標をそれぞれ 82%、85%達成した。
- PVD (+0.43%)はインドネシアの合併会社への投資に関する承認を求める決議を発表した。これによって同社は同国へのジャッキ式掘削機や掘削サービスの提供を容易にすることが予想される。

- 外国人投資家は 1 兆 1,990 億ドルを売り越した。買い越は銘柄ごとに分散した一方で、売り越は VHM (+2.61%)、FPT (+1.85%)、MSB (+0.89%)に集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。